

## 議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

### 市民ホール

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	回調 答査
1	平成24年11月20日の第8回専用球技場用地調査委員会に対して出された亀岡市の調査票では、農地転用、農振地域の指定解除で都市計画法の開発許可が得られると誤解をしている。そうした指摘もせずに、平成24年12月定例会では促進の質問をされている。		産業建設			
2	アユモドキは天然記念物であり、現状変更等には文化庁長官の許可が必要である。執行機関は軽微な変更であるため不要であると回答していたようだが、議会としてそのことをチェックしたのか。		総務文教			
			環境厚生	環境厚生で判断すべきものではない		
3	この度、環境保全専門家会議が急いで開かれたのは、京都市への文化庁移転等により、京都府はアユモドキ保全に極めて厳しい姿勢となったからだと予想できる。亀岡市の遊水池、霞堤が埋められないのは、下流の京都市のためであり、今回についても、京都市への文化庁移転の見返りであると思うが、どのように対処するのか。		環境厚生			
			産業建設			
4	スタジアムが本当に地域振興の役に立つのか。具体的にどのような効果があると考えているのか。		産業建設			
5	スタジアムは、利権の誘致とネットに書かれている。亀岡市のホームページに電話番号を公開していない議員には、市民の声は届きにくい。		広報広聴			
6	市民の大部分の意見は、右岸はあり得ないと思っている。なぜ右岸にこだわるのか。運動公園付近に変更、あるいは返上してはどうか。		産業建設			
7	京都・亀岡保津川公園の管理費は毎年必要である。市税は実質的に使わないで欲しい。地域振興と言うのであれば、管理費を上回る税収がなければ地域振興にはならない。また、亀岡駅北地区においても同様であり、京都府の補助があっても、土地に関する固定資産税等は入らず、亀岡市の税金で埋めることになる。管理費を考えないと亀岡市財政は破綻に近づく。見通しの失敗に議員はどのように責任をとるのか。		総務文教			
			産業建設			
8	栗山前市長、山崎元副市長、勝見前副市長、湯浅前副市長、促進を訴えた議員、都市計画審議会委員に相当の責任がある。		産業建設			
9	都市公園条例の一部改正について、隣接する大堰川緑地や農地まで含め「建ぺい率」を考える無茶な論議をしている。都市計画法を理解していない市議会議員がいる。亀岡駅北地区に変更された場合、都市公園条例の建ぺい率の改正はどうするのか。		産業建設			

10	スタジアムの当初予定地も亀岡駅北地区も、防災科学研究所が公表したハザードマップでは、30年以内で、震度6弱以上の地震が35%程度と予想されている。台風18号でも水没をした。このような場所でも広域防災拠点として機能するのか。		総務文教			
			産業建設			
11	桂川右岸については、スタジアムを造っても駐車場は地下で、選手、役員等関係者、マスコミ関係者分は確保している。一般駐車場はこれから亀岡市と協議していくと知事へのさわやか提案で回答を受けた。このままでは一般駐車場のない欠陥スタジアムである。		産業建設			
12	当初の予定地、駅北、どちらにしても国道9号を一層渋滞させ、事業者・通勤者などに大きな負担となる。せめて沓掛から大井インターまで260円とする方策くらい講じてはどうか。国道9号、篠町に負担をかけないための交通対策についてどう考えているのか。		産業建設			
13	子ども議会を高校生にも広げ、亀岡市の公開度は近畿でもトップクラスである。できれば地方自治体の構成についてよくわかるよう答弁者に理事者や執行機関を呼ぶなど一工夫してみては。	子ども議会は子どもの意見を聞く広報広聴の場として位置付け、議員が答弁を行った。今回は執行部にて答弁を行う。	広報広聴			
14	市長の予算編成の苦労、努力はよくわかるが、絶対欠かせない義務的経費は当初予算に計上すべきである。老人福祉費の計上額は平成27年度補正後の88%に過ぎず、障害者自立支援扶助費は93%、生活保護費は95%である。それだけ減少する理由はあるのか。必要額を計上すべきであり、毎年度補正するようでは、当初予算では適正額が計上されていないと言わざるを得ない。補正予算の財源、財政調整基金取り崩しの根拠は。	当初予算の中でしっかり把握して、修正は基本的にはしないという原則である。しかし、例えば医療費において、インフルエンザのワクチンをA型が流行ると予測して予算を組んだが結果的にはB型が流行るなど当初では捕捉できない部分も出てくる。議会として説明責任を果たせるように取り組んでいきたい。	総務文教			
			環境厚生			
15	スタジアムについての議員の考えを知りたい。議員としての考えを市民に何らかのたちで示していただきたい。少なくとも参加者で住所を書いた方には送ってほしい。	公表の方法は、従前はホームページや議会だよりに掲載してきた。新たな方法を出せるのかどうかは、議会で検討する。参加されている方に特別に送付せず、広く回答をするという形で了解いただきたい。	広報広聴			
16	スタジアムについての質問を私も疑問に思っている。市民の皆が誰でも分かるようにホームページや議会だより等で答えてほしい。議会報告会の開催の報告の欄に、どのような意見があったのかとそれに対する回答を載せてほしい。	ホームページや議会だより等で回答をしていけたらと思う。	広報広聴			
17	わがまちトークは希望の自治会のみとあるが、そうなれば自治会は年配の方が中心ということもあり、子育て世代の声が聴きにくくなるのでは。	自治会のみならずNPOやすべての団体との意見交換を積極的に取り組んでいこうと思っている。	広報広聴			
18	予算特別委員会で京都スタジアム関係は何も説明がなかった。議会だよりに掲載されていることは読めばわかるのでそれ以外の掲載されていないことが聞きたい。		広報広聴			
19	NPOの団体でなくてもわがまちトークに来てもらえるのか。	出来る範囲で要望に答えたい。もし要望されるのであればなるべくテーマを絞っていただきたい。	広報広聴			

20	給食導入の件や子ども議会でも意見のあったトイレの改修について、いつまでに行うというのが示されていない。子どもにある程度投資をしなければ、将来的にふるさと納税をする気になれないのではと思う。	議会としても執行部に強く言っている。予算特別委員会としても指摘事項としてあげているところである。	総務文教			
21	ここは議会報告会であり、審査をする場ではない。要望が議会で反映されたのかどうかをここで聞くのが本筋である。議会で決まった事をどういう理由で決まったのかななどを説明してもらったらよいのではないか。		広報広聴			
22	丸山にて充実した火葬場を、とのことであるがどこの丸山か。	余部町である。	環境厚生			
23	鳥獣対策について、農産物の被害のための網などは設置されているが、人体に影響するシカやイノシシ、アライグマなどの防護も考えてほしい。	鳥獣対策については、個体数を減らすことが農産物にも人体にも影響を少なくするものであると考える。個体数を減らす努力をしていきたい。	産業建設			
24	急傾斜地において、土砂災害を防止するために地元負担金が必要とのことであるが、下矢田町1丁目では急傾斜地の工事が行われ、現在は中断している。再開した際に地元負担金が必要となるのか。また、国の工事なので早く着手してほしい。	中断された工事であり、これまでの経緯もあるので即答は出来ない。いずれにせよ条例は施行されたので、亀岡市としては、条例に沿って対応していく。	産業建設			